

M^{群★星}uribushi

隔月発行【むりぶし】

特集

平成十三年度内閣府
沖縄関係予算の概要



沖縄総合事務局局報 第274号





Muribushi

隔月発行【むりぶし】/ 1月号

Contents 目次

01

就任ご挨拶

行政改革担当大臣
沖繩及び北方対策担当大臣

橋本 龍太郎

02

プロフィール

行政改革担当大臣
沖繩及び北方対策担当大臣
内閣府副大臣
(沖繩及び北方対策担当)橋本 龍太郎
仲村 正治

03

二十一世紀の沖縄振興

法政大学総長 清成 忠男

04

Special
特集
Edition平成十三年度内閣府
沖縄関係予算の概要

仕事の窓

その1/財務部

県内企業の景況感

その2/農林水産部

図でみる沖縄農業の動向

その3/経済産業部

新生「経済産業部」の任務

その4/運輸部

小型船舶操縦士の資格(ボート免許)を取得するには

トピックス局の動き

14

総務部

橋本龍太郎沖縄開発庁長官来沖
第二十二回国有財産沖縄地方審議会開催される

15

農林水産部

国営宮古土地改良事業等完工式を挙行
ガス保安功労者の沖縄総合事務局長表彰式について

16

経済産業部

億首ダム建設に伴う損失補償基準に関する協定書調印式を挙行
福地ダム建設の歴史を紹介した出版物「山原の大地に刻まれた決意」発刊!!

17

開発建設部

水源と消費地の交流会開催
「沖縄の道路」写真コンテスト表彰式

18

運輸部

国立組踊劇場(仮称)起工式典を挙行
八重山地区交通アドバイザー会議の開催について

19

残しておきたい沖縄の不思議

時事通信社那覇支局長 重城 康二

20

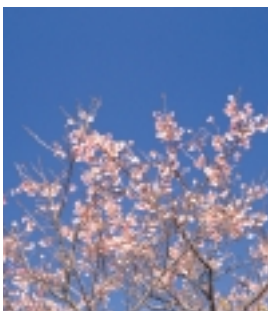
沖縄在勤の思い出

株式会社博報堂顧問(沖縄開発庁元総務局長) 玉城 一夫

21

幹部の就任

平成十三年度消費者モニター募集

表紙解説
名護の寒緋桜

守ろう地球環境!

新エネルギー「風力発電設備」



北谷町風力発電施設(490kW)

北谷町は、風力発電フィールドテスト事業として風力発電設備を設置し、北谷公園内施設の電気使用量の一部を賄っております。

風力発電とは、「風の力」で風車をまわし、その回転運動を発電機に伝えて「電気」を起こすクリーンな発電方式です。また、風力発電は、風力エネルギーの約40%を電気エネルギーに変換できる比較的効率の良いものです。



北谷公園

一月六日の中央省庁改革のスタートに当たり、沖縄及び北方対策担当大臣を拝命いたしました。私が総理時代に手掛けた一府十二省庁体制の発足時にこうして閣内にいることに、巡り合わせの不可思議さを感じずにはおられません。

沖縄を巡る諸課題の解決が、内閣の重要課題となる中で、これらの課題解決を推進する任を担うこととなり、その責任の重さを痛感しております。沖縄県民の方々のお心をしっかりと受け止め、仲村副大臣とともに、職務に当たる所存であります。

御承知のとおり、沖縄は、先の大戦で奇烈極まる地上戦が行われ、県土は焦土と化し、非常に多くの尊い生命が失われるとともに、その後も二十七年間にわたり米国の施政権下に置かれるなど、筆舌に尽くしがたい苦難の道を歩んでまいりました。

こうした中、沖縄が昭和四十七年五月に本土に復帰して以来、政府は三次にわたる振興開発計画を策定し、これに基づいて各般の施策を積極的に講じてきた結果、県民の皆様のためまざる御努力と相まって、社会資本の整備は大きく前進し、沖縄の経済社会は総体として着実に発展してまいりました。

しかしながら、沖縄は、今なお広大な米軍施設・区域が存在すると



就任ご挨拶

行政改革担当大臣・
沖縄及び北方対策担当大臣

はし もと りゅう た ろう
橋 本 龍 太 郎

ともに、交通の円滑化、水の確保、街づくり、環境衛生など様々な分野で整備を要するものがみられ、さらには産業振興や雇用創出の問題など今なお解決しなければならぬ多くの課題を抱えております。

この度の内閣府の発足に際しては、沖縄が抱える歴史的、地理的条件や米軍施設・区域の存在などの特殊事情にも留意しつつ、沖縄の新たな発展に向けての総合的な施策を推進することが国政上の重要課題であるとの認識のもと、沖縄対策の担当大臣を常設するとともに、これまでに内閣官房と沖縄開発庁に分かれて実施していた、沖縄対策に係る総合調整の機能と、振興開発計画の作成、実施等の機能等を、内閣府において一体的かつ強力に推進することとなりました。

また、現地の沖縄では、沖縄総合事務局をそのまま置くこととしたが、従来にも増して総合的・一体的な業務運営を行うこととし、局内における総合調整機能の強化を図ることとした。事務局職員が、この趣旨を十分に理解され、一層一体的な運営に努められ、着実に成果を挙げて沖縄県民の期待に沿えることとなるよう、私としても職員と共に誠心誠意努めてまいりたいと考えています。

沖縄は今、二十一世紀を迎えて新たな発展の基盤を築くべき極めて重要な節目の時期を迎えています。私としては、内閣府において充実強化された沖縄担当部局の機能を十全に発揮して、沖縄の特性を活かした振興開発の推進に全力で取り組む所存であります。

また、平成十三年度末で期限を迎える現行の第三次振興開発計画の後の振興施策の進め方については、二十一世紀の沖縄の自立的発展を図るための沖縄振興新法の在り方も含め、沖縄県とも連携しつつ、精力的に検討してまいれる所存であります。

さらに、沖縄県民の皆様への負担を軽減すべく、引き続きSACO最終報告の着実な実施に全力で取り組む決意であります。特に、普天間飛行場の移設・返還については、沖縄県及び地元地方公共団体との間の代替施設協議会を中心に、できるだけ早く成案を得るべく努力してまいれる所存であります。

これまで、沖縄のために御尽力された歴代の長官等多くの関係者の方々の熱意を受け継ぎ、新しい世紀を迎えた沖縄の一層の発展に向けて全力を傾注してまいれる決意を申し上げて、私の御挨拶いたします。



行政改革担当大臣・

沖縄及び北方対策担当大臣に

橋本龍太郎氏が就任

はしもとりゅうたろう



平成十三年二月六日付けで行政改革担当大臣・沖縄及び北方対策担当大臣に橋本龍太郎氏が就任された。

昭和三十八年衆議院議員選挙で初当選。昭和四十五年厚生政務次官、昭和五十一年衆議院社会労働委員長、昭和五十三年厚生大臣、昭和六十一年運輸大臣、平成元年大蔵大臣、平成六年通商産業大臣、平成八年内閣総理大臣、平成十二年沖縄開発庁長官等を歴任。

岡山県出身 六十三歳



内閣府副大臣

(沖縄及び北方対策担当)に

仲村正治氏が就任

なかむらせいじ



平成十三年一月六日付けで内閣府副大臣(沖縄及び北方対策担当)に仲村正治氏が就任された。

那覇市議会議員二期当選。沖縄県議会議員二期当選。昭和五十八年衆議院議員選挙で初当選。平成一年沖縄開発政務次官(二期)、平成八年衆議院沖縄北方問題特別委員長、平成十一年衆議院運輸委員長、平成十二年防衛総括政務次官、同年沖縄開発総括政務次官等を歴任。

沖縄県出身 六十九歳



法政大学総長

清成 忠男

二十一世紀の 沖縄振興

沖縄は、「南の交流拠点」であるといわれてきた。いづくされてきたこの言葉が意味をもつのは二十一世紀ではないのか。

IT革命の進展によって、二十一世紀には人間の行動のグローバル化が一段と進む。人間の交流・接触が国境を越えて進展する。IT革命は人間の行動を空間的な制約から開放するといわれる。たしかにそのとおりである。

しかし、インターネットで伝達されるのは、形式化される情報だけである。言語化、数値化、図表化などの形式にすることが可能な情報だけである。形式化できない情報、いわゆる「暗黙知」はインターネットでは伝達できない。たしかに暗黙知の形式化への試みは、絶えず行われている。それでも、限界はある。しかも、形式化が可能であっても、

秘匿しておきたい情報がある。こうした情報は、信頼関係に基づいてフェイス・トゥー・フェイスで伝達される。

現実には、価値の高い情報は、暗黙知と秘匿しておきたい情報である。こうした情報は、人と人の接触とディスカッションによって初めて伝達される。しかも、単に伝達されるだけではない。接触が摩擦と知的刺激をもたらす。ディスカッションの

結果新しい情報が創造される。依然として「接触の利益」が大きいのである。だから、デジタル革命の本場であるシリコンバレーには多くの人々が集まる。コンピューターの国際的な見本市も多くの人々を惹きつける。リアルな世界は、バーチャルを越えた迫力を有するのである。たしかに、沖縄は、地理的位置からして、東南アジアの諸地域と本土の諸地域の交流を媒介しうる利点を有している。

問題は交流の仕方である。ただ交流の場所を借すだけなのか。それとも、沖縄が独自の価値を創造し、それによって東南アジアや本土から多くの人々を惹きつけるのか。もちろん、後者が重要である。交流によって新しい情報の創造も可能になる。

要は、沖縄の人々が主体的に価値創造のビジョンを構想し、発信することである。必要な人材は内外から招致すればよい。「南の交流拠点」というからには、外国人にオープンでなければならぬ。今は、世界最適調達の時代である。人的資源も、広く外国から調達可能である。

人的資源のなかでとりわけ重要

なのは、企業家と専門人材である。企業家は、革新的な事業を起こす人々である。それをサポートするのが専門人材である。

すでに、シンガポール、ニュージーランド、中国の広州においては、企業家にオープンな政策をとっている。また、沖縄がグローバルに通用する事業を展開しようとするならば、外国から専門人材を招致しなければならぬ。ヤマトンチューはもとより、外国人に閉鎖的であってはグローバル時代に対応できない。

その意味で、二十一世紀は、ウチナンチューの力量が問われる時代である。



平成十三年度内閣府 沖縄関係予算の概要



特別自由貿易地域中城湾港新港地区

平成十三年度は、第三次沖縄振興開発計画の最終年度であり、同計画の目標達成に向け、沖縄振興開発諸施策の推進と残された課題の解決に取り組むとともに、三次振計後の沖縄振興のあり方について新たな法制の整備を含め、総合的な検討に取り組む重要な年度であります。

さらに、沖縄の米軍施設・区域の整理・統合・縮小に向けて、普天間飛行場の移設を含め、沖縄に関する特別行動委員会（SACO）の最終報告の着実な実施を図ることとし、これに関連して、北部地域等の振興並びに駐留軍用地跡地利用の促進等積極的な取組を推進するとともに、「沖縄経済振興二十一世紀プラン」の最終報告に盛り込まれた諸施策の実施、沖縄懇談会事業の着実な推進等個別の課題についても鋭意取り組んでいく必要があります。

このような状況の中、内閣府における沖縄関係の平成十三年度の内示額は三千四百八十九億九千二百万円（対前年度比一〇〇・一％）、うち沖縄振興開発事業費等で三千二

百六十一億七千万円（対前年度比九・三％）、基本的政策企画立案等経費が二百二十八億三千百万円（対前年度比一一三・七％）となっており、厳しい財政事情の下ではありますが、その内容は沖縄重視の予算となっております。

平成十三年度予算の主なポイントは以下のとおりです。

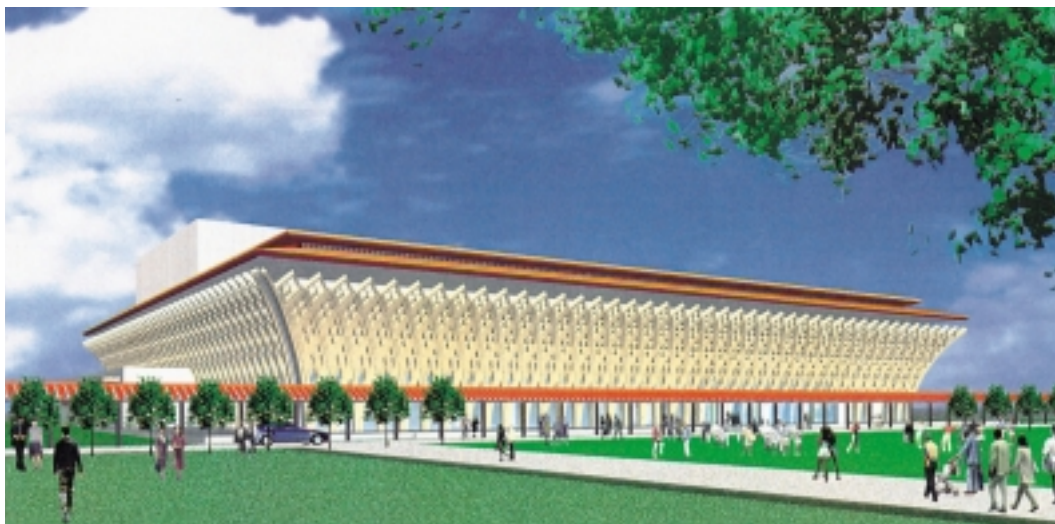


国営かんがい排水事業伊江地区 計画平面図

- 沖縄における産業の自立的発展を促すため次のような事業を新たに実施いたします。
 - 特別自由貿易地域への企業立地促進方策の調査検討
 - 沖縄における金融関連業務の誘致に関し、その実現に向けた施策の調査検討
- 国営かんがい排水事業伊江地区の全体実施設計
- イモソウム等の根絶事業
- IT教育センター（仮称）の設置
- 県立水産高校実習船の建造
- 県土の均衡ある発展を図るため、次のような事業を新たに実施いたします。
 - 沖縄西海岸道路読谷道路の整備
 - 県道一一〇号線（名護市）の整備
 - 与那国空港滑走路の延長整備
 - 仲田港防波堤の整備
 - 離島の放置自動車の処理
 - 粟国村かん水淡水化施設の増設
 - 中部北環境施設組合（具志川市、石川市、与那城町、勝連町、恩納村）伊平屋村におけるごみ焼却施設の建設
 - 名護市、久米島総合組合員具志川村仲里村）のごみ焼却施設の改良
 - 沖縄市宮室川団地の建替
 - 組踊公園（浦添市）の整備
 - 大原診療所（竹富町）及び小浜診療所医師住宅（竹富町）の改築
 - 名護市東江海岸保全施設の整備

平成13年度内閣府 沖縄関係予算の概要

- ・「沖縄県農林水産業ビジョン・アクションプログラム」の支援及び情報通信産業振興に資するため、沖縄振興開発金融公庫の貸付制度を拡充し、次の資金を創設いたします。
- ・おきなわブランド振興資金
- ・沖縄情報通信産業支援資金



国立琉球劇場(仮称)外観イメージパース(南東面)

今後の沖縄振興開発の基本方向等に沿った振興施策の具体的な展開方向を検討するため、「沖縄振興開発総合調査」を前年度に引き続き実施いたします。

沖縄の特性を踏まえた海洋深層水の有効利用の新たな展開を図る観点から、「沖縄における海洋深層水の有効利用に関する調査」を前年度に引き続き実施いたします。

普天間飛行場等大規模駐留軍用地跡地利用の推進を図るため、「普天間飛行場等大規模駐留軍用地跡地利用推進費」により関係省庁、沖縄県、地元市町村が跡地利用計画



整備中の中城湾港マリンタウンプロジェクト(西原・与那原地区)

の策定及びその具体化を進めるために実施する調査等の調整・支援を行います。

「沖縄経済振興二十一世紀プラン」の最終報告に基づく諸施策の機動的な実施を図るため、「沖縄特別振興対策調整費」により、必要な特別振興対策の総合調整を行います。



新水族館

沖縄県の米軍基地所在市町村から提言されたプロジェクトの調査及び施設整備等の着実な推進を図るため、「沖縄米軍基地所在市町村活性化特別事業」を実施いたします。

「普天間飛行場の移設に係る政府方針」に基づき、北部振興協議会並びに移設先及び周辺地域振興協議会の協議を踏まえつつ、「沖縄北部特別振興対策特定開発事業推進費」等により、北部地域並びに移転先及び周辺地域の振興事業の着実な推進を図ります。

観光・リゾート地にふさわしい景観形成並びに観光資源の質及び利便性の向上等を図るため、複数の事業を有機的に組み合わせ、面的・線的な整備を図る「美ら島沖縄創造事業(仮称)」を新たに実施いたします。

沖縄の自然環境と伝統文化等を活かした滞在型・参加型観光の環境整備のため、「沖縄体験滞在交流促進事業」を新たに実施いたします。

硫黄島
具志川村



現状は「下降」超、先行きは「上昇」超

財務部



その1

県内企業の景況感

財務部が平成十二年十一月に県内の資本金一千万円以上の法人企業（金融・保険を除く）を対象に実施した大蔵省景気予測調査結果の概要を紹介します。

一 景況判断

現状（十二年十一月）では製造業で「上昇」超幅が拡大しているものの、ウェイトの高い非製造業で「下降」超幅が拡大していることから全産業では「下降」超となっている。

先行きについては、十三年一～三ヶ月は製造業で引き続き「上昇」超で推移するものの非製造業で「上昇」超に転じることから全産業でも「上昇」超に転じる見通しとなっている。

十三年四～六ヶ月は製造業でわずかながら「下降」超に転じるもののウェイトの高い非製造業で「上昇」超で推移することから全産業では引き続き「上昇」超で推移する見通しとなっている。

二 売上高

十二年度下期は、製造業・非製造業とも増収とみており、全産業では三五%の増収見込みとなっている。

十二年度通期は、製造業・非製

造業とも増収とみており、全産業では三七%の増収見込みとなっている。

三 経常損益

十二年度下期は、製造業で増益とみているものの、非製造業で大幅な減益とみていることから全産業では十一・四%の減益見込みとなっている。

十二年度通期は、製造業で増益とみているものの、非製造業で減益とみていることから全産業でわずかながら二〇%の減益見込みとなっている。

四 従業員数

現状では、製造業で「不足気味」超に転じているほか、非製造業で「不足気味」超幅が拡大していることから全産業でも「不足気味」超幅が拡大している。

先行きについては、製造業で「過剰気味」超に転じるもののウェイトの高い非製造業で「不足気味」超で推移することから全産業でも「不足気味」超で推移する見通しとなっている。

五 所定外労働時間

現状では、大企業で「減少」超に転じているものの、中小企業で「増加」超で推移しているほか、中堅企業では「増加」超幅が拡大している。

先行きについては、中小企業で「増加」超で推移した後、「減少」超に転

じるものの大企業で「減少」超で推移した後、「増加」超に転じるほか、中堅企業では「減少」超に転じた後、再び「増加」超に転じる見通しとなっている。

六 金融機関の融資態度

現状では、中堅企業で「きびしい」超で推移しているものの大企業で「きびしい」超幅が縮小しているほか、中小企業では「ゆるやか」超に転じている。

先行きについては、中小企業で「きびしい」超に転じるほか、大企業、中堅企業では「きびしい」超で推移する見通しとなっている。

七 資金繰り

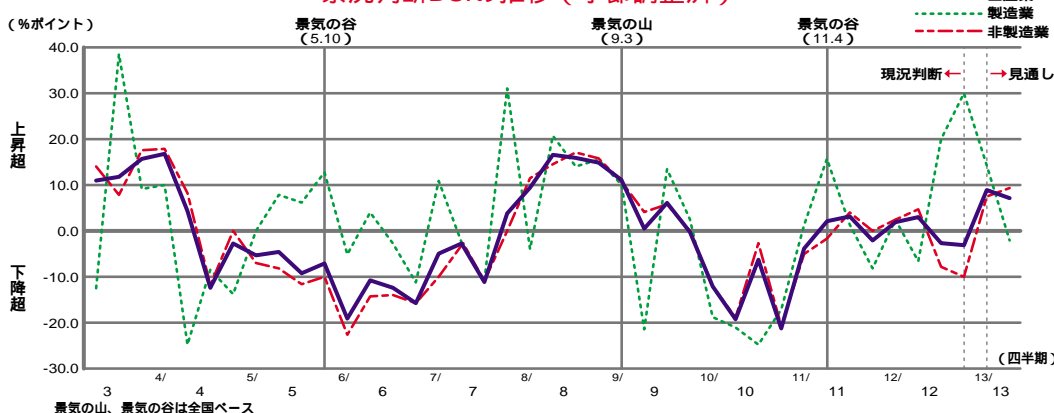
現状では、中堅企業・中小企業で「悪化」超で推移しているものの大企業では「改善」超に転じている。

先行きについては、大企業で「改善」超で推移するほか、中堅企業、中小企業では「悪化」超で推移した後、「改善」超に転じる見通しとなっている。

八 中期的な経営課題

中期的な経営課題についてみると、全産業では、国内販売体制、営業力の強化を挙げる企業が最も多く、次いで、後継者・人材確保・育成、新技術・新製品の開発、製品サービスの高付加価値化の順となっている。

景況判断BSIの推移（季節調整済）



BSIとは
景気動向指数（ビジネス・サーベイ・インデックス）をいい、表見方は次のとおりです。
BSI（「上昇」等と回答した企業の構成比）（「下降」等と回答した企業の構成比）

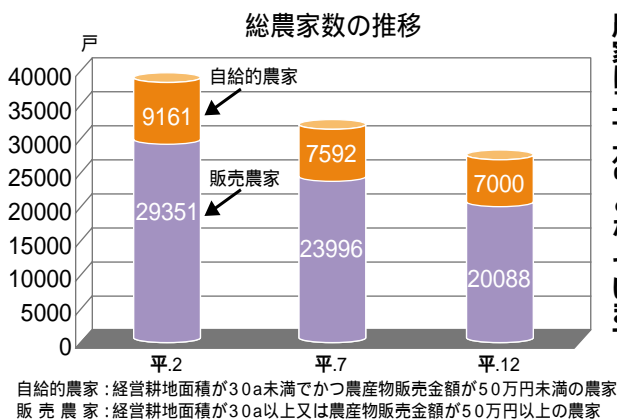
図でみる 沖縄農業の動向 二〇〇〇年世界農林業センサスの概要



2000年世界農林業センサスが平成11年12月1日現在(沖縄県以外は平成12年2月1日現在)で実施され、沖縄県の結果概要が平成12年12月5日に発表されました。

2000年世界農林業センサスは、沖縄総合事務局と沖縄県が、各市町村、農林業関係者の協力を得て実施しました。

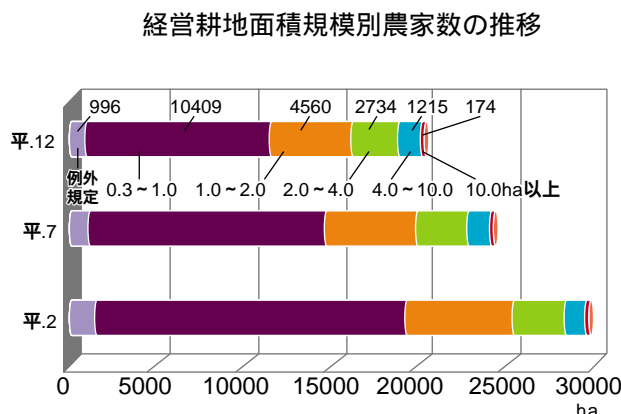
我が国は、1950年以降10年目ごとに国際条約に基づく世界農林業センサスを行うとともに、その中間年に我が国独自の農業センサスを実施しており、2000年世界農林業センサスは、通算して農業で11回目、林業で5回目に当たります。



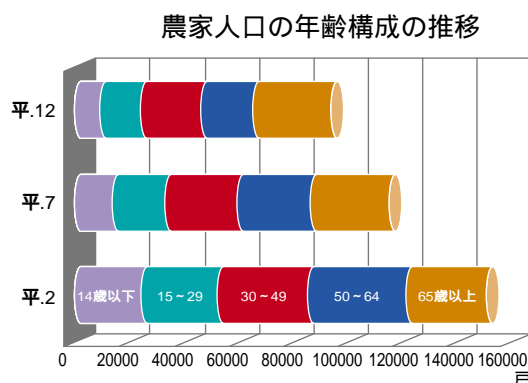
一、農家の実体
総農家数
平成十一年十二月一日現在の総農家数は二万七千八百八十八戸で五年前の農業センサスに比べ四千五百戸(十四%)減少しました。このうち販売農家は総農家の七十四%、自給的農家は二十六%となっています。

世界農林業センサス
我が国農林業・農山村の基本構造とその変化を把握するとともに、土地・労働力等の資源総量を明らかにし、農林業施策の推進に必要な基礎的かつ総合的な統計資料を整備することを目的としています。

専業別農家数
販売農家を専業別にみると、専業農家は四十%(全国は十八%)に当たる七千九百三十九戸で前回の農業センサスに比べ五百九十三戸(七%)減少しました。また、兼業農家は一万二千四百四十九戸(六十%)で前回より三千三百十五戸(二十一%)減少しました。

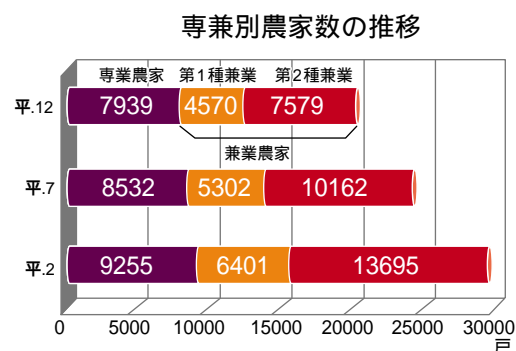


経営耕地面積規模別農家数
販売農家の経営耕地規模をみると、一ヘクタール未満階層が全体の五十七%を占めるなど、依然として小規模経営農家が主体となっていますが、農家数が減少しているにもかかわらず規模の大きい農家が増加する傾向が続いています。



農家人口は九万四千四百二十七人で前回の農業センサスと比べると二万二千百四人(十八%)減少しました。これを年齢別構成で見ると六五歳以上が三十一%を占め、老齢化が進んでいます。

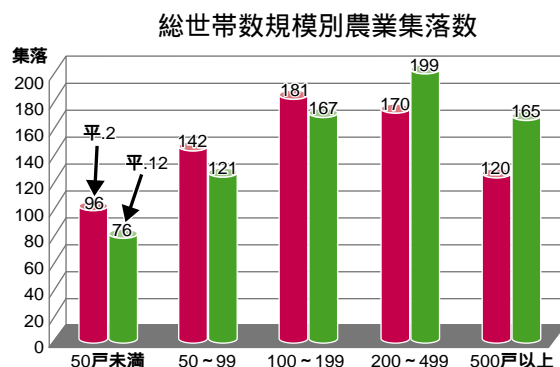
農家人口の年齢構成



農業集落数は、七百二十八集落で農家の都市部への移動等により十年前の平成二年と比べると十九集落(二・七%)増加しました。総世帯数規模別には二百戸未満階層の農業集落が減少する一方で二百戸以上階層が増加がみられます。

一、農業集落の概況

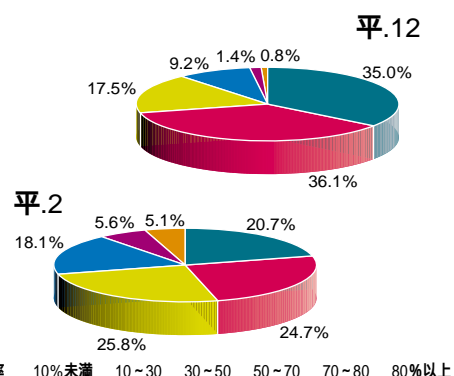
総世帯数規模別農業集落数



農業集落を農家率(農業集落の総世帯数に占める農家数の割合)別にみると農家率の高い集落の割合が低下する傾向にあり、農家率五十%以上の農業集落の占める割合は十年前の三割から一割に低下しました。

農家率別農業集落数

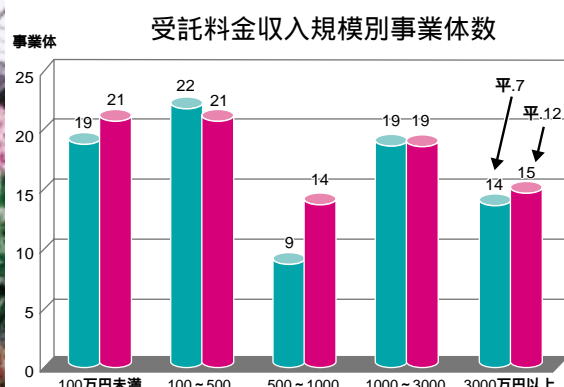
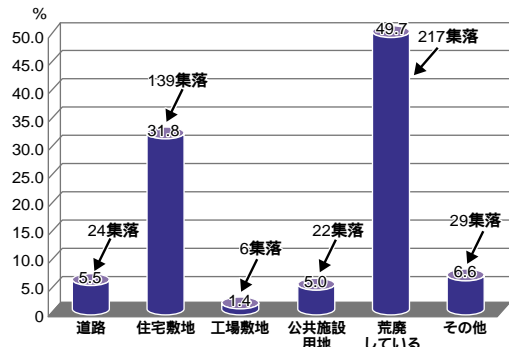
農家率別農業集落数の割合



耕地の変化の状況

過去十年間における農業集落の耕地の変化状況をみると、四百三十七集落(全体の六十%)で減少しています。耕地の減少要因として二位に「荒廃している」とした集落が五十%と最も多く、次いで「住宅敷地に転用」(同三十二%)となっています。

主な減少要因別農業集落数割合



農家等から委託を受けて直接的な農作業のサービスを行う事業体総数は法人事業体の増加により前回の八十三事業体から九十事業体へと増加しました。受託料金収入は比較的小さい百五十万円階層で減少する一方で五百一十万円階層で九事業体から十四事業体へと増加しているなど、農業サービスの規模拡大が進んでいます。

三、農業サービス事業

受託料金収入別事業体数

新生 「経済産業部」の任務

1、組織の変革

「沖縄開発庁沖縄総合事務局通商産業部」は二〇〇一年一月六日の中央省庁再編に伴い、内閣府沖縄総合事務局経済産業部になりました。「経済産業部」は、産業のみならず経済社会全体を視野に入れた新たな任務を担うため、「通商産業省」から衣替えした「経済産業省」の地方における業務を遂行しております。復帰後、三十年近くにわたり県内の中小企業を始めとした産業振興や貿易振興、電力、工業用水道などの産業基盤の整備、骨材の供給、環境問題への対応等に携わってまいりました。新世紀を迎え、「経済産業部」は経済界との連携を深めつつ、活力に溢れた新しい沖縄を創造するために部内での議論を積み重ね、従来以上に積極性のある組織へと変革することを目指しています。以下に新しい「経済産業省」のミッションと併せてその内容を紹介します。

2、「経済産業省」の新しい顔

《二十世紀に果たしてきたこと》
「経済産業省」は、戦後復興期の傾斜生産方式、六十年代の貿易為替自由化、重化学工業化政策、公害対策、七十年代の知識集約化ビジョンの提示、オイルショック対応とエネルギー安全保障政策、八十年代のプラザ合意後の円高対策と構造調整、九十年代にかけての自動車摩擦、日米構造問題協議、APEC発足、そして、リサイクル法やCOP3などの環境政策、経済構造改革プログラムの策定、ベンチャー対策、産業再生法制定など、我が国経済を取り巻く内外の状況変化に果敢に対応しながら、その発展を支えてきました。

《二十一世紀のミッション》
二十一世紀には、世界に類を見ない急速な少子高齢化、社会や価値

観の多様化、内外経済の融合化、情報化・ネットワーク化の更なる進展、厳しさを増す環境・エネルギー制約等が顕在化し、経済産業省はその環境変化に対応していくこととしております。

急速な内外経済の融合化などにより大変動期にある世界の中で、常にグローバルな視点を持ち、世界経済全体の今後の発展のために何が必要かを考え、また、時代の変化に対応した新たな国際経済に関するルール・枠組みの形成に向けた積極的な取り組みを進めていくとしております。少子高齢化の進展、環境・エネルギー制約の顕在化、情報化などにより急激な環境変化に直面している我が国を、これからは産業を中心とした経済発展という視点のみならず、経済社会全体の発展という視点から捉え、二十一世紀の日本を魅力あふれるものとし、国民全体がゆとりと豊かさをもちて生活するためには何が必要かを考え、そのための取り組みを積極的に進めていくとしております。消費者、地域、雇用者、高齢者、NPO・NGO、学生など我が国経済社会に存在する多様な経済主体のニーズの変化に対応し、それぞれの価値観の実現を可能にするために幅広

い視野で、かつきめ細やかな取り組みを進めていくこととしております。そして、これらを実施するために幅広い視点からの質の高い、高付加価値の政策をダイナミックかつスピーディに企画立案・実施できる知識と行動力を有する政策の推進力となるシヨナル集団となり、経済全体を視野に入れた世界をリードする政策機関に生まれ変わることとしております。

3、経済産業部の新しい顔

《二十世紀に果たしてきたこと》
沖縄は、戦前の窮乏きわまる経済や先の大戦による焦土化、戦後の米国施政権下における輸入依存政策実施の中で一九七二年に本土復帰を迎えました。しかし、完全に日本の高度経済成長から取り残されたため、経済格差是正を図るための三次にわたる沖縄振興開発計画が策定され、各般の施策が実施されてきました。この間、「経済産業部」では、産業の血液といわれる電力やガス供給産業の育成を始め、工業団地造成の支援、セメントやアルミサッシ、小棒（建築用等の鉄筋）等の重厚産業の育成、沖縄の文化を継承するための伝統工芸産業の育成、情報処理産業の振興の他、企業誘致への取組、中

小企業の技術・経営水準の引き上げ、商工会の設立等を支援してきました。これらは、産業の発展方向等を示した過去二度にわたる沖縄地域振興ビジョンや情報振興ビジョン、沖縄地域技術振興計画の策定やその他の補助金等による助成、セミナー・相談等を通じた情報提供等により実施されてきました。その成果等もあり、商工会を始めとした中小企業支援機関の整備、エネルギー需給の安定化、技術レベルの向上等に資するJISやISOの普及、コールセンターやその他の情報産業等の立地、御トロピカル

テクノセンター等研究機関の設立等が進んできました。最近では、新規事業創出を図るための支援機関におけるネットワークの形成を始め、創業者のためのワンストップサービス化の推進、元気企業調査を通じたロールモデル情報の提供、技術開発力を高めるための産学によるコンソーシアムの推進、消費者相談体制の充実、沖縄の美しい自然を守るための環境問題等に対応しております。

《二十一世紀のミッション》

沖縄では、今、経済発展を遂げるための「沖縄振興策」、「北部振興策」、「沖縄経済振興二十一世紀

プラン」に基づく特別プロジェクトが検討及び実施されています。また、来年、沖縄振興開発特別措置法が期限切れとなるため、沖縄経済新法（仮称）の制定準備が国及び県の連携により進められております。経済産業部は、経済産業省のミッションの展開と併せてこれらのプロジェクトの創出・展開等に関わってまいります。また、特に新規産業の創出やIT化への取組と併せた高度な経営資源を持つ産業の育成、沖縄の美しい自然を後世に伝えるための環境保全に取り組んでまいります。

経済産業部のミッション達成のためのキーワードは、景況把握力や企業情報把握力及び広報力を強化した「情報戦略の展開」、企業に対する相談や適切なアドバイスの行える「頼れる経済産業部の構築」、また、これらを確実に実施していくための「政策評価能力を備えた組織への変革」です。今、経済産業部は、部内で行われる様々な議論を通して政策の創出力、実行力、評価力等の涵養を図っているところです。経済産業部は、二十一世紀における沖縄の経済が飛躍的な発展を成し遂げるための挑戦を続けてまいります。



沖縄特別自由貿易地域賃貸工場

小型船舶操縦士の資格(ボート免許)を取得するには



近年増加している水上オートバイ、フィッシングボート等を用いたレジャーに対応した資格の付与が行えるよう、航行区域を限定した5級小型船舶操縦士の資格制度が新設されました。

今回は、小型船舶操縦士の資格(ボート免許)の取得について、わかりやすく概要を紹介します。

種 類	距離・航行区域	大きさ 総トン数	代表的な 船型
5級小型船舶操縦士	1海里以内(海岸)	5トン未満	水上バイク ゴムボート 小型ヨット
4級小型船舶操縦士	5海里以内(沿岸)		
3級小型船舶操縦士			
2級小型船舶操縦士	20海里以内(沿岸)	20トン未満	小型漁船 大型クルーザー 大型ヨット 遊漁船
1級小型船舶操縦士	20海里を超(外洋)		

免許の種類は
小型船舶操縦士の海技免許には次の五種類があり、小型船舶の航行区域(距離)及び大きさ(トン数)によって資格が異なります。

受験資格は
受験日の前日までに下記の年齢に達していること。
年齢：一級・二級・三級 十七歳九月四日
四級・五級 十五歳九月四日
次の身体検査合格基準に達していること。

視力：両眼共に〇・六以上の視力を有すること。ただし両眼のうち、一眼の視力が〇・六に満たない方については、一方の視力が〇・六以上あつて、かその眼の視野が左右百五十度以上あればよいことになっており、また視力は矯正視力でもよいことになっています。
弁色力：色盲又は強度の色弱でないこと。ただし、強度の色弱であっても、航路標識の色彩を識別できればよいことになっています。

聴力：五メートルの距離で話声語等を弁別できること。(補聴器使用可)

講習・試験機関は

免許を取得するためには、学科・実技を修了し、身体検査試験に合格していなければなりません。この学科・実技の受講施設としては、JHS(ジエイス)沖縄支部(学科・実技は国家試験免除。自動車運転学校とほぼ同じ)、ボート免許講習教室や指定試験機関、もっぱら学科・実技試験のみを行い合否の判定をする。公安委員会と類似があります。

どれくらいの日数・費用がかかるか

免許の種類により講習時間、講習内容が異なります。また、受講料も各講習の種類により差異がありますが、概ね次のとおりです。

講習の種類	講習時間		一般コース	短期集中コース	受講料(円)
	学科(時間)	実技(時間)			
5級小型講習	6	8	2～3日間	2日間	約6万5千
4級小型講習	15	12	5～7日間	3～4日間	約9万5千
1級小型講習	40	20	11～18日間	9～11日間	約20万

一般コースは仕事・通学をしながら講習に通って無理なく免許を取得するコース
短期集中コースは講習を集中的に受けて、短い期間に免許を取得する最短コース

受講・免許手続きに必要な書類は

- ・戸籍抄本又は住民票(本籍のつったもの)……………一通
- ・予備身体検査証明書(医師による証明書)……………一通
- ・写真(六ヶ月以内に撮影した無帽、正面で無背景のもの3cm×3cm)七枚

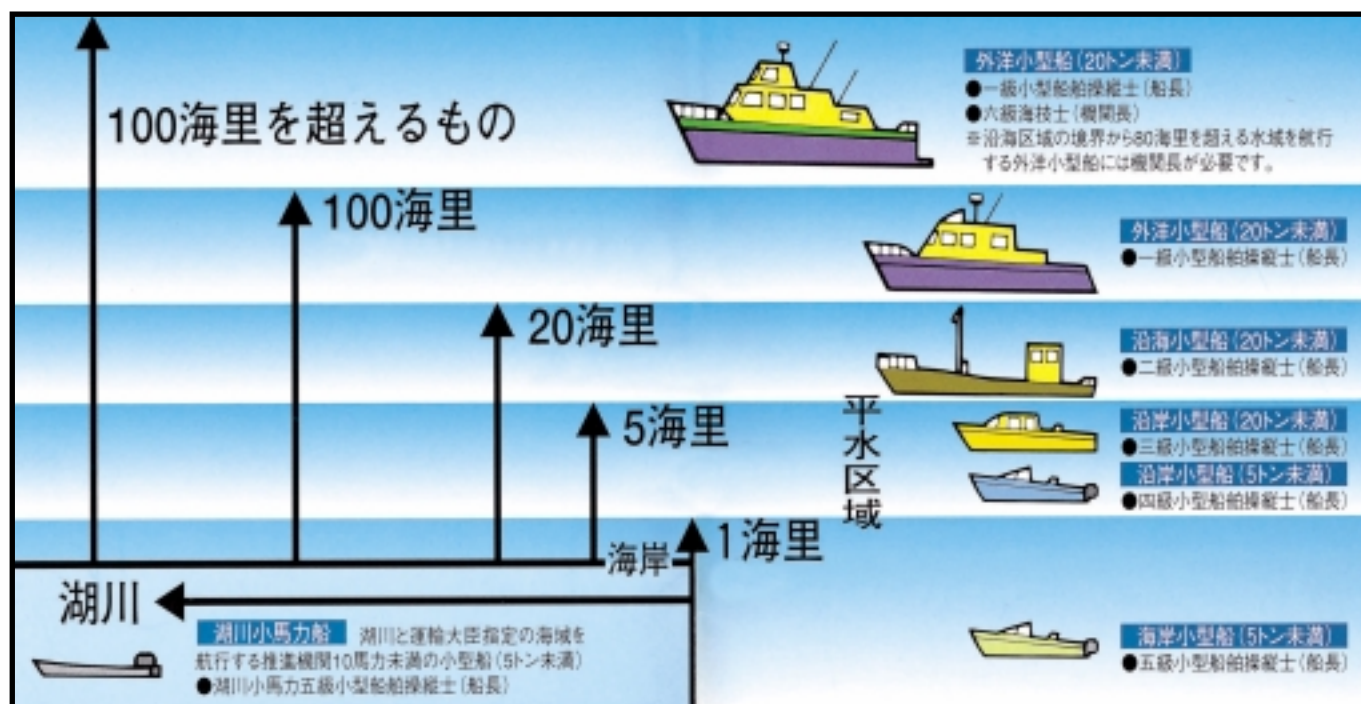
免許を受けたら五年毎の更新手続きを忘れずに

小型船舶操縦士の免許は航海及び機関両方の知識と技能を備えた船長免状です。免状交付を受けてから五年毎に更新をしなければ効力が失われますので有効期限を確認して更新手続きを受けてください。更新手続きは有効期限の二年前からできます。

失効再交付の手続きは更新を忘れて効力が失われた免許は失効再交付講習を受けてその免許の効力を回復することができます。



小型船舶に必要な資格



財 務 部

第22回国有財産沖縄地方審議会開催される

平成12年11月6日(月)、第22回国有財産沖縄地方審議会が東村所在農林水産省種苗管理センター沖縄農場で行われ、独立行政法人に対する国有財産の現物出資について、委員への説明が行われました。独立行政法人とは、国の行政や事業の効率化、透明性の向上を図ることを目的として平成10年6月に成立した「中央省庁等改革基本法」により設立が規定されています。国が直接実施する必要はないが、民間に委ねた場合必ずしも実施されない可能性があり、かつ国民生活の向上及び社会経済の安定など、公共上の見地から必要と判断される事業を、国から独立した法人に運営を任せるとするのが目的です。

また、平成11年4月27日「中央省庁等改革の推進に関する方針」により独立行政法人に対し政府は独立行政法人に対する金銭以外の土地、建物等の財産の現物出資を行うことができる旨決定され、県内では、全部で6省庁9機関が平成13年4月1日をもって独立行政法人化されることになっています。現物出資の規模は土地約91万7千㎡、建物約4万2千㎡などとなっており、われわれに身近な施設としては、渡嘉敷村所在国立沖縄青年の家や、石川市所在沖縄海員学校があります。



総 務 部

橋本龍太郎沖縄開発庁長官来沖

橋本沖縄開発庁長官が平成12年12月25日に仲村正治沖縄開発総括政務次官とともに就任後初来沖し、沖縄県知事及び沖縄県議会議長との会見、嘉数高台公園からの普天間飛行場視察、国立沖縄戦没者墓苑の参拝等を行い、同日夕、帰任しました。

沖縄県知事との会見の前に、沖縄総合事務局職員への訓示がありましたので紹介します。

橋本長官は、「沖縄開発庁としては、最後の長官を拝命したことを大変意義深く受け止めています。1月6日から新しい体制として、仲村総括政務次官ではなく、仲村副大臣とコンビを組んで、皆さんの役に立つような仕事をしたいと思います。新しい体制になると、沖縄総合事務局の役割は今まで以上に調整権限等大きなものを受け止めていかなければなりません。21世紀を迎える沖縄、20世紀中に解決しなかった問題がずいぶん積み残されており、新しい将来を考えると、非常に大事なこれからの1年になるだろうと思っています。自分でも全力を傾けていきたいと願いますが、そのためには皆さんに支えていただきたい。私も仲村さんも全力を尽くします。より明るい21世紀を沖縄県のために創っていききたい。力を合わせて行きましょう。」と述べられました。



経済産業部

ガス保安功労者の沖縄総合事務局長表彰式について

去る11月28日、平成12年度ガス保安功労者沖縄総合事務局長表彰式を執り行いました。

この制度は、日頃から保安管理体制が十分確立され、長期にわたり事故が発生していない事業所及び保安に関し特に功労のあった個人等を表彰することにより、保安意識の高揚を図り、もってガス保安の確保をより一層推進することを目的としており、昭和54年度以降表彰が行われています。

今年度は、ガス主任技術者の部門で「本部ガス株式会社社長・棚原憲弘」さん及び「ゆいな農業協同組合ガス事業所長・横田政秀」さんが受賞しました。

棚原さんは、ガス主任技術者として14年間無事故でガスの供給管理に従事したことを始め、社内での保安教育や簡易ガス協会の主催する緊急出動訓練時の企画立案に尽力したなどの功績が認められ、同じく横田さんも、ガス主任技術者として24年無事故を全うしたほか、社内での保安教育や、簡易ガス協会での技術委員を積極的に務めるなどの功績が認められたものとなっています。

両氏とも業界においては、指導的立場にある方であり、このことも高く評価されています。



農林水産部

「国営宮古土地改良事業」及び「緑資源公団宮古区域農用地等緊急保全整備事業」完工式を挙行

国営宮古土地改良事業及び緑資源公団宮古区域農用地等緊急保全整備事業完工式が、昨年11月15日に平良市内のホテルで、多数の関係者出席のもと盛大に挙行されました。

本事業は、受益面積8,160haの農地への農業用水の安定供給を図ることを目的に、昭和62年に国営宮古土地改良事業として着手し、平成元年度からは地下ダムの施行を農用地整備公団(現・緑資源公団)が継紹して2事業体制で推進してきました。

着工以来14年、638億円(予定)を投じ、事業所職員総数150余名が従事してきた大事業も平成12年度に完了を迎えます。

本事業により、世界に例を見ない大規模な地下ダムをはじめ、4流域(水源利用可能量2,400万)の取水施設、ファームポンド6箇所、用水路(パイプライン)130km等を造成し、国営事業初の風力発電施設もモデル的に導入しました。

式典で、小山沖縄総合事務局長は、「宮古島有史以来とも言える水利用農業の展開が可能となり、地域の歴史が塗り替えられることは誠に感慨深い」と式辞を述べ、沖縄開発庁長官(若林沖縄開発事務次官代読)から、「このような新しい試みによる農業用水を、適切な維持管理により有効かつ効率的に活用され、地域の益々の繁栄につながることを確信している。」と挨拶がありました。

仲間宮古土地改良区理事長(城辺町長)は、謝辞の中で、「この歴史的かつ壮大な水利施設の機能を最大に生かし、地域産業の振興に寄与すべく全力を傾注していく所存である。」との地元の決意を述べられ、式典は盛会のうちに閉会いたしました。



開発建設部

「水源地と消費地の交流会」開催

去る11月28日(火)、「平成12年度水源地と消費地の交流会」が開催されました。

これは沖縄県内の水源地及び消費地の小学生を対象に、日頃何気なく使っている水に関して、水源地をより身近に感じ、水の大切さを再認識するということを目的としています。当日は天候にも恵まれ、水源地側から名護市の名護小学校、消費地側から南風原町の津嘉山小学校の4年生、合わせて217人が参加しました。

まず羽地ダムで、ダムの概要・役割の勉強や、工事状況の見学を行い、次に漢那ダムの見学を行いました。実際に水を供給している漢那ダムと建設中の羽地ダムとを比較することで、子供達はダムの機能について更に深く関心をもったようでした。

その後、宜野座村国際交流センターにて意見交換会が行われました。この意見交換会では各学校の紹介や「沖縄の水と私達とのかかわり」について研究発表が行われました。両校共に、工夫をこらした研究発表で、またお互い質問を出し合ったりと活発な意見交換が行われました。

今回、それぞれのテーマについて学習した成果が十分発揮でき、すばらしい実りある交流会になったと思います。



福地ダム建設の歴史を紹介した出版物「山原の大地に刻まれた決意」発刊!!

去る10月26日、当局の管理ダムである福地ダムに関して、高崎哲郎教授(帝京大学)の著された出版物「山原の大地に刻まれた決意」がダイヤモンド社から発刊されました。内容は、福地ダム建設の歴史を綴ったもので、昭和44年米国陸軍工兵隊により建設着手され、昭和47年5月15日の本土復帰という大きな節目を経て日本政府に承継され、日米両国の技術陣により幾多の困難を克服して、昭和49年の完成に至るまでの経緯を描いたノンフィクションです。

福地ダムは、沖縄本島の河川総合開発事業の第1号ダムであり、7ダムが完成した現在もなお、県内最大規模を誇り、県民の水道用水供給等に大きな役割を果たしています。本書は、沖縄におけるダム建設行政及びダム管理行政に対してさらなる理解を深めて頂くために大変意義のある出版物になるものと大きく期待されております。

本誌は、県内主要図書館で閲覧できるようになっておりますので、是非、本書をご一読いただければ幸いです。



億首ダム建設に伴う損失補償基準に関する協定書調印式を挙行政

「億首ダム建設に伴う損失補償基準に関する協定書調印式」が、去る11月27日(月)、金武町立中央公民館において関係者約80名が出席する中、小山沖縄総合事務局長と伊勢地主協議会会長との間で、沖縄県知事と金武町長を立会人として執り行われました。

本調印式は、損失補償基準について、かねてより当局と地主協議会との間で、土地価格等の協議を重ねた結果、合意に至り挙行政されたものです。

小山局長は調印式のあいさつの中で、「県内における水の安定供給を確保するための施策を計画的に進める必要性」と「公共事業における用地の確保の重要性」等について述べるとともに、億首ダムの完成に向け、関係機関のなお一層の支援と協力を要請しました。

今回の調印により、今後億首ダムの用地買収が本格化することになります。当該事業の用地概要は、地権者数435名、取得予定面積80ha、用地費及び補償費約90億円を見込んでおり、平成15年度までに用地取得を完了する予定です。



運輸部

八重山地区交通アドバイザー会議の開催について

運輸部は、12月7日に石垣市において「八重山地区交通アドバイザー会議」を開催いたしました。

交通アドバイザー制度は平成4年に創設された全国的な制度であります。

今回は八重山地区全般の公共交通機関(陸上、海上、航空)に係るサービスについて、沖縄県立芸術大学付属研究所長(教授)の波照間永吉氏を座長とし、通学者、通勤者、高齢者、障害者、主婦等それぞれの御立場から御発言いただける8名の方々にアドバイザーに委嘱し、バリアフリー化の推進を始め、交通サービスの向上(路線網の充実、運賃の低減、施設の充実等)に対する活発な議論をいただいたところであります。

この会議で出されました御意見等につきましましては、できるだけ今後の交通施策に反映させていくこととしていきます。



開発建設部

「国立組踊劇場(仮称)起工式典」を挙

平成12年12月12日(火)、関係各位約120名の方々をお招きし、浦添市小湾の建設地において国立組踊劇場(仮称)の起工式典が厳かに挙行されました。

式典では、小山沖縄総合事務局長の式辞を始め、来賓の方々の挨拶や祝辞を頂いた後、来賓等12名による鍬入れ式が「ヨイショ、ヨイショ、ヨイショ」の掛け声とともに、力強く行われました。引き続き国立組踊劇場建設支援会による組踊(萬歳敵討より)が上演され、招待者の方々に組踊の片鱗にふれていただくとともに、組踊を始めとする沖縄伝統芸能への理解を更に深めて頂きました。

平成15年の完成を目指し、大成・戸田・仲本工業特定建設工事共同企業体による建設工事が本格的に始まります。



「沖縄の道路」写真コンテスト表彰式

「沖縄の道路」写真コンテストは、道路の果たすいろいろな役割を県民の方々に理解して頂き、併せて道路愛護思想の普及を図るため、沖縄総合事務局開発建設部主催のもと平成4年度に第1回目のコンテストが行われ、今回で第9回目を迎えました。

応募者も第1回目には30名で74作品でしたが、回を重ねる毎に増え、今回は159名による421作品の応募がありました。

去る10月25日に沖縄県写真協会会長外8名の審査員による審査会が行われ、厳選な審査の結果、最優秀・優秀作品を含む入賞作品22点を選出し、その中から道路カレンダーの各月を飾る12作品を選考しました。

11月22日にかりゆしアーバンリゾート那覇において、当局の橋本次長を始め多数の出席者のもと、表彰式が執り行われ、橋本次長から入賞者に表彰状及び記念品が授与され、入賞作品について沖縄県写真協会会長から講評が行われました。

また、12月11日から15日まで県庁1階県民ホールで入賞作品を掲示しました。



重城 康二

東京から沖縄に着任してから八カ月が経った。その間、「あれは何ですか」「どうしてそうなのですか」など、子供のようになににでも聞いていたから、多くの人に迷惑をかけ続けたと思う。本土人の身勝手かもしれないが、沖縄には変わってほしくないな、と思うものがたくさんある。全国横並びも必要だろうが、同時に希少性、特異性も大事にしてほしい。無形文化財とまではいかない些細なことでも、それは今や価値のある「資源」なのだから。

門中墓

沖縄ならどこでも市街地をちろちろと外れると、本土では見慣れない物にぶつかる。亀甲墓というらしいが、そう言えば、亀がうつ伏せになっている姿に見える。もう一つは、家の形をした屋敷墓。(写真＝名護市フセナテラスリゾート近くの国道五八号線沿いで)

どちらもお墓と聞いて二つの疑問が浮かび上がった。一つは、お寺や墓地・霊園でもない所になぜ、墓があるのか。もう一つは、なぜあんなに大きいのか。である。

沖縄には本土とは違う独自の葬送・祖霊儀礼がある。先祖の供養はお盆と清明祭の二回。葬式は普通、仏教



残しておきたい 沖縄の不思議

です。ようだが、宗派はこだわらないらしい。琉球王家の尚家は禅宗だったようだが、普通の人の聞くと宗派はない知らないと答える。「そうかここには檀家制度がないんだ。だから、めっちゃ高い戒名なんてのはつけないでもないんだ」「そういえば、祖霊と仏教は元々は関係ない」「本土では戦後に、なんとか条令」ができて、お墓はお寺が共同墓地に移してしまっただが、沖縄は昔のお墓はそのままでいいんだ。」

きれいな砂浜

「この間、波の上ビーチに行きました。きれいな砂浜で驚きました」と沖縄の人に言ったら、「もうときれいな海岸は他にもありますよ。特に離島へ行けば」と笑われてしまった。ほんとうにそうだった。人工海浜らしいホテルのビーチでも、本土に比べれば、格段のきれいだ。沖縄の人は知らないだろうが、本土の砂浜、有名な湘南海岸でも砂浜は汚い。最近「ミ」は拾うようになつたし、砂も入れるようになってしまったが、今でもあそこく一メートルも掘れば、硫黄の

匂いをする真っ黒な泥が出てくると思う。戦後の高度成長が、砂浜をめちゃくちゃにしたし、昔、泳いだ東京湾の海水浴場は八〇年代に埋め立てられてしまった。

沖縄の人は色は白いし、泳げない?

沖縄には上げ底ブーツはいるが、「ガソリン」の女の子は見かけない。統計をとったわけではないが、泳げない人が結構多いらしい。理由を聞くと、「学校にプールがなかったから」という返事だ。「臨海水泳教室はなかったの。(本土ではプールがなくても)小学校では海辺の学校に泊まって海で先生に無理やり泳がされるんだよ」と聞くと、「海では泳がない」という返事が返ってきてまた驚いた。そう聞いて小学校三、四年ごろ、ひと夏だけ、同じクラスになった金城(きよこ)さんという沖縄の女の子も泳げなかったのを思い出した。

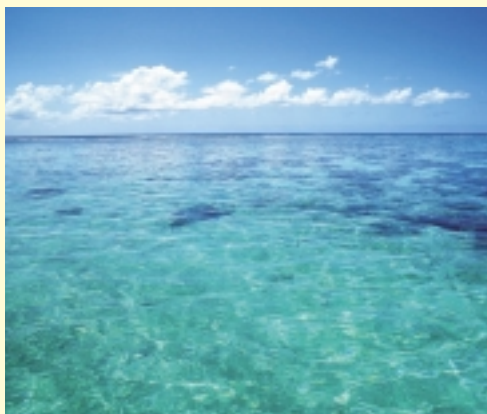
停留所以外でもバスは止まる!!

六月ごろ、北谷野球場の取材の帰り、産経新聞の支局長と近くの五八号線から那覇に戻ろうとした時、バスが停留所を過ぎて信号で止まっていた。タクシーは近くにいない。彼が手を挙げた。「何をしているのか」と思ったら、バスのドアが開いた。「沖縄のバスは停留所以外でも乗せてくれるし、降りてくれますよ」と聞いて驚いた。

名護西線のバスに乗って、恩納村のXXホテルに行きますか」と運転手さんに聞くと、「バス停から遠いから近くで降りましょうね」との返事。バス停とバス停の間の五八号線沿いのホテルの前で止めてくれた。

自慢じゃないが、バス路線は八割方乗っているから、これは間違いないと思う。「しましうね」

「お昼に行きましょうね」と言われるとまだ、まだ戸惑ってしまっ。「一緒に行きましょう」と誘ってくれたとは思ってしまっからだ。沖縄ではそうではなく、「行きますが、いいですか」という意味だ。本土なら、行きますね。確かに文法的にはどこにも、「一緒に」を示す言葉は入っていないが、本土ではどういつ訳か、「一緒に」という意味になっている。それが普通だと思っていたが、この項目は本土の不思議にすべきかもしれない。





株式会社博報堂顧問

(沖縄開発庁元総務局長)

玉城 一夫

沖縄開発庁総務局長を辞して早や半年が過ぎました。三十二年余の公務員生活の中で沖縄開発庁にはその前身を含め十三年間勤務しました。特に総合事務局には、私自身沖縄出身ということもあって、総務部調査企画課長、総務部長、事務局長として都合三回、延べ八年間務めました。その間事務局の皆さんには大変お世話になり、心から感謝を申し上げます。

「沖縄在勤の思い出は三回の勤務を通して数多くありますが、それぞれの時代に強く印象に残ったことを中心に振り返ってみたいと思います。

総務部調査企画課長時代は昭和五十五年から五十七年までの二年間、最初の沖縄振興開発計画に続く、いわゆる二次振計をどのように「ヤサンするか」ということで、事務局各部が

沖縄在勤の思い出

げての取り組みのまとめ役として、また、県と本庁との橋渡し役としてフル回転していたのが思い出されます。各部とも大変に意欲的で皆燃えていたという感じでした。また、当時は香ニゲーションも盛んで県の担当者とも建前論ばかりでなく、本音で意見交換ができたと思います。しかし、昨今はいろいろあつて…

もう一つは戦後補償の問題で講和後から復帰前までの米軍人・軍属による県民に対する人身被害事案(多くは交通事故、他に暴行や殺人など)について個別に審査し、補償額を決定する事務がありました。担当者が深夜まで一件一件調べて積み上げたところ予算のほぼ倍に当たる件数・金額になりました。沖縄の戦後の一つの断面を見たように思いました。

昭和六十二年から平成二年までの総務部長時代には着任早々海邦国体が開催されました。印象深かったのは開会式を飾った沖縄ならではの「ヌケム」四つ竹踊り、エイサー、綱引き、空手演武などが沖縄市のメイン会場いっぱいに繰り広げられました。



実に壮観でこの面では四十七分の一の県としての沖縄というよりも、四十六ともう一つのもの、本土全体に對置する存在としての沖縄という感じが、県出身者として誇らしく思った次第。また、夏の大会の時に二十世紀最後の金環食があり、職員の人かと一緒に庁舎屋上で見ましたが、神秘といつか実に感動深いものでした。

現在、群星荘は職員の研修の場として、また夏場を中心に職員・家族の保養の場として活用されていますが、その当時は北部国道事務所管轄の残土置き場にすぎず、ヌケムが茂り、ハフの棲み家でしかなかったところ。いろんな経緯を経て建設されたフル付きの瀟洒な群星荘を見ると、井戸掘りをした一人として感慨深いものがあります。

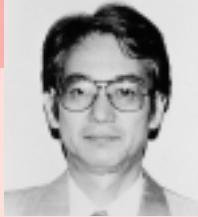
事務局長時代は平成六年七月から九年七月までの三年間。この時期は米軍提供施設の延長問題を巡って国と県(大田県政)との相克の激しいと

きでした。特にあの不幸な少女暴行事件を契機に沖縄の米軍基地問題が大きくクロースアップされ、沖縄担当大臣が置かれるなど政府を挙げて対処することになりました。振興開発業務が中心の事務局においても、その後基地跡地の利用の問題はかりでなく、基地周辺問題にも関わるようになってきたことに時代の流れを感じさせられたように思います。

事務局長時代に頭を離れなかったのは合同庁舎の問題でした。現庁舎は狭隘で老朽化も激しく、合同庁舎の建設は将に喫緊の課題でした。財務部や営繕の関係者と早期の建設方法を巡ってよく議論し、本庁や大蔵省理財局、建設省営繕部へも何度か足を運んだものです。用地については既に財務部において手当て済みでしたが、肝心の建設予算についてはバブル崩壊後の特会計の厳しい状況や営繕予算もその多くが大宮市に移転建設される合同庁舎に回されていた当時の状況下では、ない袖は振れぬ」といつ辛い結果になってしまいました。それでも地質調査費を計上するなど着実に積み上げてきた努力が実り、いよいよ建設が始まるとのこと、喜びに堪えません。

二十一世紀の幕開けに当たり、事務局の皆さんが新装なった庁舎において二層のご活躍をされるよう祈念申し上げます。





内閣府審議官に
さかき まこと
榊 誠 氏が就任

平成13年1月6日付けで、内閣府審議官に榊誠氏が就任した。

昭和43年早稲田大学第一政治経済学部卒業。同年総理府入府、平成2年内閣審議官(外政審議室)兼内閣総理大臣官房参事官、平成4年沖縄開発庁総務局総務課長、平成6年総務庁恩給局次長、平成8年内閣総理大臣官房管理室長、平成10年内閣総理大臣官房審議官、同年総理府賞勲局長、平成12年沖縄開発庁総務局長を歴任後現在に至る。

青森県出身、56歳



事務次官に
こう の あきら
河野 昭 氏が就任

平成13年1月6日付けで、事務次官に河野昭氏が就任した。

昭和40年東京大学文学部卒業。昭和41年行政管理庁入庁、平成2年総務庁行政管理局企画調整課長、平成3年総務庁長官官房総務課長、平成4年総務庁長官官房審議官(行政監察局担当)、平成5年関東管区行政監察局長、平成6年総務庁長官官房審議官(行政管理局担当)、平成7年総務庁長官官房長、平成10年中央省庁等改革推進本部事務局長、同年内閣官房審議官を歴任後現在に至る。

東京都出身、59歳



沖縄振興局長に
あだち とし お
安達 俊雄 氏が就任

平成13年1月6日付けで沖縄振興局長に安達俊雄氏が就任した。

昭和46年京都大学法学部卒業。同年通商産業省入省、平成3年通商産業省立地公害局立地政策課長、平成4年通商産業省機械情報産業局産業機械課長、平成6年防衛庁装備局管理課長、平成8年通商産業省大臣官房審議官、平成9年内閣審議官(内閣官房内閣内政審議室)を歴任後現在に至る。

大阪府出身、52歳



政策統括官(沖縄担当)に
おそ だ まさ のり
襲田 正徳 氏が就任

平成13年1月6日付けで政策統括官(沖縄担当)に襲田正徳氏が就任した。

昭和45年東京大学法学部卒業。同年自治省入省、平成元年鹿児島県総務部長、平成4年自治省大臣官房企画官兼参事官、同年地方職員共済組合地方共済事務局長、平成6年沖縄開発庁総務局企画課長、平成9年沖縄開発庁沖縄総合事務局長、平成10年沖縄開発庁振興局長を歴任後現在に至る。

栃木県出身、53歳



沖縄総合事務局長に
よし だ まさ つぐ
吉田 正嗣氏が就任

小山裕前局長の転任に伴い、平成13年1月6日付けで沖縄総合事務局長に吉田正嗣氏が就任した。

昭和47年東京大学法学部卒業。同年運輸省入省、平成2年国際観光振興会バリ観光宣伝事務所長、平成5年内閣総理大臣官房参事官(広報室)、平成8年沖縄開発庁総務局総務課長、平成10年内閣総理大臣官房管理室長、平成12年中央省庁等改革推進本部事務局次長を歴任後現在に至る。

佐賀県出身、51歳



大臣官房審議官(沖縄担当)に
たけ だ むね たか
武田 宗高氏が就任

平成13年1月6日付けで大臣官房審議官(沖縄担当)に武田宗高氏が就任した。

昭和47年東京大学法学部卒業。同年大蔵省入省、平成2年沖縄開発庁振興局振興総務課長、平成4年大蔵省理財局国有財産審査課長、平成5年大蔵省関税局業務課長、平成6年防衛庁経理局会計課長、平成8年国税庁長官官房総務課長、平成9年仙台国税局長、平成10年経済戦略会議事務局次長、平成11年関東財務局長を歴任後現在に至る。

香川県出身、51歳

平成十三年度消費者モニター募集

公正取引室では、公正取引委員会の消費者行政に一般消費者の意見を反映させるため、また、公正取引委員会の仕事に消費者の立場から協力していただくため、平成13年度の消費者モニターを募集しています。

消費者モニターの仕事は、公正取引委員会が行うアンケート調査等に協力していただくほか、独占禁止法や景品表示法の施行に関する情報の提供、日常生活経験に照らした消費者としての意見等を提供していただくことです。

また、公正取引委員会の消費者行政についての紹介や意見交換などを行うため、年2回の研修会にも参加していただくことになっています。

なお、平成13年度の募集要領は下記のとおりです。

記	
応募資格	沖縄県内に居住する20歳以上の消費者
募集人数	18名
任期	平成13年4月から平成14年3月までの1年間
謝金	1万2千円(上限)
応募方法	官製はがきにて 平成13年1月9日から2月9日 (締切日当日消印有効)
問い合わせ先	沖縄総合事務局総務部 公正取引室
電話	098-863-2243

切手 900-8530

那覇市前島の千の十三

公正取引室 行

住所 氏名(ふりがな)
年齢性別
電話番号

表面

職業(会社員・専業主婦・パート等)
各種七ヶ条経験の有無
家族同居構成/続柄(年齢・職業)
(例: 夫40会社員・子9小学生)
最寄バス(バス名)
最寄バスまでの所要時間
応募した理由(百字程度以上)

裏面



沖縄総合事務局次長に
あずま きよし
東 清氏が就任

平成13年1月6日付けで沖縄総合事務局次長に東清氏が就任した。

昭和50年東京都立大学法学部卒業。同年経済企画庁入庁、平成元年防衛庁防衛研究所第一研究部第三研究室長、平成3年国土庁地方振興局総務課計画調整官、平成5年経済企画庁総合計画局計画官(産業一般担当)、平成7年国土庁地方振興局東北開発室長、平成9年経済企画庁調整局貿易投資調整官、平成10年経済企画庁長官官房情報システム課長を歴任後現在に至る。

東京都出身、50歳

輝く太陽、花の乱舞
心誘うフラワールランド。

1/13...5/6

沖縄花のカーニバル

2001 FLOWER CARNIVAL in OKINAWA

沖縄国際洋蘭博覧会

開催期間／2月3日(土)～2月12日(月)

会場・開港地／海洋博公園
(热带ドリームセンター・植物管理センター)

2001

フラワーフェスタ2001

開催期間／2月3日(土)～2月21日(水)

会場・開港地／本都町・豊原市

★主催／沖縄商。★沖縄観光コンベンションビューロー ★共催／沖縄県農事振興局、○海洋博公園記念公園管理財団・東村、名護さくら祭り実行委員会、名護南とラン人形劇実行委員会、本部八重岳祭典花まつり実行委員会、全沖縄地本土産協会、めんそーれ民謡船乗組協議会、屋敷神社・高島郡村・伊江村、etc.
 ★お問い合わせ先／沖縄花のカーニバル実行委員会、○沖縄観光コンベンションビューロー内 市(098)862-0501 / OCVBホームページ「琉球ネット」<http://www.ocvb.or.jp/>

沖縄総合事務局

ホームページアドレス <http://www.ogb.go.jp>